



殺菌水による歯周病の治療風景

## 大学の研究室も大注目する

# 歯周病、ムシ歯、口臭の原因菌を根絶する



## 歯科の画期的治療法！

# 殺菌水



殺菌水を開発した野口先生

殺菌水はバイオフィルムを通過し素早く細菌を殺す！

〈殺菌剤の大きさ比較〉

殺菌剤のタイプ (殺菌成分)	大きさ (分子量)
抗菌剤 (アジスロマイシン)	785.03
洗口剤1 (グルコン酸クロロヘキシジン)	505.45
洗口剤2 (塩化ベンゼトニウム)	448.08
洗口剤3 (ポピドンヨード)	364.95
洗口剤4 (チモール)	150.22
殺菌水 (次亜塩素酸)	52.46

歯周病菌やムシ歯菌は、歯や歯茎に付着後、粘着性の膜(バイオフィルム)を作り、その中で生存し、増殖を促す。この膜は分子量が200以下の物質しか通さない。抗菌剤や洗口剤の多くは分子量が200以上だが、殺菌水は52と小さいので素早く通過できる。細菌の細胞壁も200以下でないと入れない。



した。  
手当たりしだいに情報を探し求め、たどり着いたのが「次亜塩素酸」でした。次亜塩素酸は、炭酸食塩水を電気分解して

得られる物質で、体内では血液中の白血球が出ています。もともと体内にある物質ですから、体に入っても安心です。しかも、強力な殺菌作用を持って

殺菌水の効果や安全性については、共同研究の申し出をいただいた東京医科歯科大学の研究室で、さまざまな実験によって確認されています(144頁146ページ参照)。そうしてわかった事実の中でも、特に注目したいのが、殺菌水のバイオフィルムへの浸透性です。  
歯周病菌やムシ歯菌は、歯や歯茎に付着した後、自分が生存・増殖しやすい粘着性の膜を作ります。その膜がバイオフィ

### 分子量の小さい殺菌水がバイオフィルムを通過

います。  
いざ開発に取りかかると、さまざまな壁に突き当たりましたが、試行錯誤の末、ようやく実用に足る濃度と安全性を持つ次亜塩素酸水が得られました。これを用いると、歯周病菌やムシ歯菌は10秒程度でほぼ死滅します。安全で効果的な「殺菌水」が、ついに完成したのです。

### 歯周病の本質は細菌感染症

現在の日本で、歯周病の人は約8000万人、成人の80%程度に及ぶと言われています。そのうち、歯科に行っているのは5%で、95%の人は治療を受けずに放置しています。

「せめて歯科に訪れた患者さんの歯周病は確実に治したい」

私は、歯科医院を開業して以来、そんな思いで歯周病の治療に力を注いできました。ところが、どんなに治療に励んでも、治らない患者さんがたまり、延々と通ってもらってはめになり

ます。

「なぜだ」と疑問が膨らみ、治療した患者さんの患部の粘膜を顕微鏡で見ると、歯周病菌(歯周病を起こす細菌の総称)が無数にうごめいていたのです。

「治療すれば歯周病菌はいなくなる」と思っていた私は、衝撃を受けました。

歯周病は、加齢や手入れの悪さから起こると思われがちですが、それらは促進や悪化因子に過ぎず、主原因はあくまでも歯周病菌です。歯周病の本質は「細菌感染症」なのです。

それまで私が行っていたのは、歯や歯茎、歯周ポケット

# 殺菌水で歯周病菌やムシ歯菌は10秒でほぼ死滅！ 新型インフルエンザも完全予防

デンタルサロン・  
パンデミック院長  
野口宗則

(歯と歯茎の間の溝)の中の歯垢や歯石を器具で取り除く、ごく一般的な歯周病の治療でした。私は、「この方法では歯周病菌は死なない」と思っていました。

ちなみに、ムシ歯も細菌感染症です。口の中に多数のムシ歯菌(ムシ歯を起こす細菌の総称)がいる限り、歯磨きをして進む危険性があります。

「ならば、歯周病菌やムシ歯菌を死滅させる方法を探そう」と、私は決心しました。それも、抗菌剤(抗生物質)などではなく、誰もが手軽に安心して行える歯の撃退法を探し始めま